

## GAP基礎研修会（生産者・入門者向け） 開催要領

### 1 趣 旨

GAP（農業生産工程管理）は、EUでは農産物の取引にグローバルGAP認証取得が条件となる等、農作物生産においてGAP導入が世界的な潮流となっている。また、農産物の海外輸出や販路拡大の場面においては、GAP導入はその重要さが増している。

一方、国内においては、農林水産省が平成22年にGAPのガイドラインを策定しており、それに準拠する第三者認証GAPとしてJGAP等が広く普及してきている。

県内では、平成28年度より、「やまがた農産物安全・安心取組認証制度」に農林水産省のガイドラインに準拠する「山形県版GAP」を導入し、取組んできている。

そこで、県内の生産者や団体職員等がGAPに関する基礎的な知識を習得するため研修会を開催する。

### 2 日時・会場

| 日 時                           | 地 区  | 会 場   |
|-------------------------------|------|---|
| 平成30年3月8日(木)<br>午後1時30分～4時00分 | 庄内地区 | 農業総合研究センター水田農業試験場<br>会議室（2階）<br><鶴岡市藤島字山の前25> |
| 平成30年3月9日(金)<br>午後1時30分～4時00分 | 内陸地区 | 山形県農業共済組合<br>中会議室（2階）<br><天童市小関1333>          |

### 3 研修内容

#### (1) 演 題

『GAP導入により、農産物の安全性を高め、消費者から選ばれる農場経営を実現できる』

#### (2) 内 容

- ア GAPの取組み項目（食品安全・環境保全・労働安全・農場管理）と導入効果
- イ GAPを巡る最近の話題（2020年東京オリンピックの食材調達や農産物輸出）

### 4 対 象

生産者、JA、市場関係、産直施設、任意生産組織、農業技術普及課、市町村等の関係者

### 5 講 師

藤井淳生 氏（安心農業株式会社代表取締役社長、JGAP上級審査員）

### 6 参加申し込み等

参加申し込みは、別紙様式により2月28日（水）までに事務局（農業技術環境課安全農産物担当）あて送付ください。

※なお会場の都合上、参加申込者多数の場合には、申し込み期限前に締め切らせていただく場合がございますのであらかじめ御了承ください（定員：内陸会場80名、庄内会場40名）。